

久留米市における在宅医療・介護連携推進事業について

1 在宅医療・介護連携推進事業について

地域における保健、医療、介護及び福祉に関する関係者相互間の在宅医療及び介護に対する理解を深めるとともに、医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、包括的かつ継続的な在宅医療と介護サービスを提供する体制を整備することを目指す。

2 事業内容

○相談窓口

市民・関係機関からの電話や窓口での相談対応

○多職種連携研修会（在宅医療従事者研修会、在宅医療多職種リーダー研修会等）

在宅医療に従事する医療・福祉従事者がそれぞれの専門性の向上を図りながら、他職種の理解を深めて、医療と介護の連携促進に繋げる。

（H28 年度実績）

- ・久留米医師会 2 回（H28.10,11）
- ・小郡三井医師会 1 回（H29.3）
- ・大川三瀬医師会 2 回（H28.8,H29.1）
- ・浮羽医師会 4 回（H28.4,7,10,H29.2）

○医療・介護従事者交流会

地域の医療介護従事者及び介護従事者が、お互いの業務内容や実践上の課題などについて理解を深め、業務上お互いに留意する点などに気付くことを目的に、勤務地圏域ごとの交流の場を設け顔の見える関係づくりの裾野を広げ、本格的な連携のきっかけ作りとするもの。

	日時	場所	内容	対象圏域	参加数
1	平成 28 年 12 月 12 日 19:00～21:00	久留米市役所 くるみホール	① ショートレクチャー:久留米市の地域包括ケアシステム ② グループワーク:高齢者の地域での暮らしの支え方～業務から見えてきた高齢者支援の課題～	中央圏域	56
2	平成 29 年 2 月 13 日 19:00～21:00			西・南圏域	92
3	平成 29 年 3 月 21 日 19:00～21:00			東・北圏域	—
				小計	148

○市民啓発（市民公開講座・出前講座）

市民が自身の最期をどのように過ごしていきたいのか、家族をどこで看取りたいかを考える
 きっか
 けとし、終末期療養の場所の選択肢の一つとして、「在宅」を考えられるような意識変革を求
 め、
 関係者と協働して在宅療養を実現していくことを理解できるようになる。

日時	場所	内容	参加数
平成 28 年 10 月 15 日 13:30～15:30	えーるピア久留米	講演「在宅ホスピスのススメ」 講師:にのさかクリニック ニノ坂保喜氏	148

○退院時連携促進事業、同行訪問事業

医療機関の医師・看護師等に対し訪問看護師やケアマネジャー等による地域医療介護の研修会を行うとともに、訪問看護ステーション等において、医療機関の看護師等を受け入れ、地域医療介護についての体験研修を行うことにより、医療機関と訪問看護ステーションなど地域医療介護関係機関の相互理解を深め、患者の退院支援促進を図ることを目的とする。

(久留米医師会)

	日時	場所	内容	参加数
1	平成 29 年 2 月 1 日 16:00～17:00	久留米総合病院 2 階講堂	退院時連携促進事業 「暮らしにつなげる訪問看護～つながる ひろがる ささえあう みんなでなろう ささえ上手 ささえられ上手～」	13 (医師2人、看護師9人、理学療法士1人、作業療法士1人)
2	平成 29 年 2 月 8 日 15:00～17:30	訪問看護ステーションくるめ、在宅患者宅	在宅医師同行訪問事業	4 (医師1人、看護師2人、作業療法士1人)

その他、浮羽医師会にて退院時連携会議（事例検討会等）を3回実施（7,8,10月）